75歳医療費2倍化 やめろ！怒りの緊急行動

8/4 議員会館前緊急集会・議員要請

～物価高騰・感染爆発・年金減額の中「2倍化」もってのほか～

東京高連ニュース

発　行
東京高齢期運動連絡会
電話03(5956)8781
FAX03(5956)8782
em:tokyo.koureiki@gmail.com
発行人：菅谷正見

命と暮らしを守る課題・政治を正す課題が山積する中、政権は参院選後の臨時国会をわずか3日間の会期で開きました。

中央社会保障推進協議会・医療団体連絡会議・全日本年金者組合・日本高齢期運動連絡会の4団体は、臨時国会2日目の8月4日正午から、雨の降り止んだ議員会館前で75歳以上医療費窓口負担2倍化中止を求める緊急集会を行い、45人が参加。

感染爆発、物価急騰の中で受診控えに追い打ちをかける「2倍化」は中止を、少なくとも延期をと訴え、集会後議員要請行動を行いました。

天気回復のなか 緊急集会 怒りのスピーチ、闘う決意

心配された雨が止む中、最初にマイクを取った保険医団体連合会の住江さんは、国会を3日間ですます政権を批判。

物価高騰など「2倍化」を決めた昨年6月とは状況が違う。世論の爆発で止めようと訴えました。

全日本年金者組合の加藤さんは、この国の医療制度は一体どうなってしまうのか。最後の最後まで闘い「2倍化」を中止させようと呼びかけました。

日本高齢期運動連絡会の吉岡さんは、高齢者の負担の実態を訴え、富裕層と大企業に負担させる運動をと述べました。

日本共産党から2議員参加

日本医療労働組合連合会の鎌倉さんは、現場は、これまで経験したことのない逼迫、命にかかわる酷い政策の大転換をと語りました。

「2倍化」反対の各野党に案内した中で、日本共産党から2人の議員が駆けつけました。

倉林参議院議員は、感染への無策や国葬問題などで世論は変わりはじめている。必ず止めるために力を合わせましょうと呼びかけました。

山添参議院議員は、命と暮らしを守るために政治がまともな仕事をするべきだと述べ、政治を変えるためがんばる決意を述べました。

8月・9月の行動を提起

集会では、日本高齢期運動連絡会の畑中さんが「運動を全国に巻き起こそう」と行動提起を行いました。

あきらめるわけにはいきません。最後まで「2倍化中止を」の声を全国に巻き起こし負担増断念を迫りましょう。

（1）署名：中止署名を更に広げましょう。9月21日に国会行動を行い署名を提出します。

（2）宣伝行動：各地で宣伝を一層強化しましょう。

中央では、8月25日17：00～18：00 お茶の水駅で宣伝を行い、以降毎週宣伝行動を予定します。

SNS・ツイッターデモも提起します。

（3）全国で地元国会議員に要請を行いましょう。

（4）集会デモ：中央では10月1日午後 大規模な屋外集会・デモを行い全国にYoutube配信も行います。

10月1日は全国各地で集会・デモに取り組みましょう。

衆参70名の厚生労働委員に要請

集会終了後、参加者のうち19名で、衆参の厚生労働委員約70名の議員会館内事務所を訪ね、75歳以上の医療費窓口負担2倍化の中止を要請しました。

さあ～コロナに気を付けながら「日本高齢者大会in京都」を成功させよう

～11月23日～24日　京都市内で開催～

第35回日本高齢者大会が、11月23日・24日京都で行われます。東京実行委員会は東京から350人の参加をめざして取り組みをすすめています。おごと温泉の琵琶湖グランドホテルに宿泊場所も確保しています。

社会保障の破壊が進み、高齢者の暮らしと人権が危機にさらされています。高齢者大会は全国の運動を持ち寄り、学び合う場です。団体・地域の取り組みを踏まえて各分科会に参加し、東京の運動をみんなに広げ、全国の仲間の運動を持ちかえりましょう。たくさんの勉強の場もあります。

今年は、年金者組合からの招待に応えてイタリアとフランスから代表がやってきます。大きな年金者組合のゆたかな活動や、社会保障を守る労働者の幅広い連帯などを学ぶ場になると思います。

全体会では、ゴリラの研究で有名な山極壽一さんが話します。ゴリラの社会生態学的研究の第一人者で、著書に『人生で大事なことはみんなゴリラから教わった』などがあります。ゴリラ研究をふまえたユニークな視点からヒトの発達や人間社会への深い洞察を展開する論者です。

参加要項などが出来ました

参加費は、現地参加の場合1日2500円、2日間で5000円、東京実委分担金が　1日500円　2日間で1000円です。Web参加の場合は、参加費が1日1000円　2日間で2000円、東京実委分担金は1日でも2日でも500円です。

東京実行委員会は、4つの形で募集をしています。

【A】参加費など＋新幹線往復＋おごと温泉宿泊など、費用50900円

【B】参加費など＋行きの新幹線＋おごと温泉宿泊。帰りは別行動、費用37，700円

【C】行き帰り・宿泊などは自分で計画、負担参加費のみ、費用6000円

【D】2日間Web参加、費用2500円

参加の要項と申込用紙、参加呼びかけのちらしは、東京高齢期運動連絡会のサイトからダウンロードできます。8月上旬に各地域・団体にも送付されます。積極的な参加に向けてぜひ団体、地域で実行委員会を開いてください。

第35回日本高齢者大会in京都・東京実行委員会のサイトのURLは、http://koureiki.main.jp/html/t/nihon.html

安倍元首相の国葬許さない！国葬反対の声をあげよう

安倍元首相の「国葬」が行われようとしています。

安倍元首相は、社会保障を破壊し、特定秘密保護法や安保法制などを強行し、民主主義を踏みにじって来ました。このような人物を国家として賛美・礼賛する「国葬」を許すことはできません。

多くの団体、個人からさまざまな観点で「国葬反対」の声が上がっています。

私たちも国葬に反対する様々な行動に積極的に参加しましょう。宣伝行動などで国葬反対の声をあげましょう。

新聞への投書、SNSへの発信などで国葬反対の声をあげましょう。

次のURLとQRコードは、首相官邸の意見欄です。ぜひみんなで書き込みましょう。

https://www.kantei.go.jp/jp/forms/goiken_ssl.html

報道によれば、東京都教育委員会が7月12日の安倍氏の葬儀に合わせ、都立学校に半旗掲揚を求める文書を送り、複数の学校が掲揚しました。

国葬にむけて同様な弔意の強要を行わないよう意見を集中しましょう。東京都教育委員会の意見ページのURL・QRコードは次の通りです。

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/consulting/window/mail.html

自治体要求全都共同行動

すべての地域で要求を自治体に！行政データー問い合わせをすべての自治体に！

今年も、自治体要求のとりくみが各地域でスタートしました。

7月12日には、自治体要求運動の23区学習意思統一集会が開かれました。

すべての地域で要求を自治体に！

第1の柱は、高齢期の要求をまとめて自治体に要請し、回答を求め、市と話し合いをもち、要求の実現をめざす取り組みです。

世田谷区では、2月から要求集約のアンケートに取り組んで、要求を区に提出し、回答を得て学習会を行い8月末に区との話し合いを行います。

地域高齢期運動連絡会として要求を提出している地域もあり、地域の社保協が自治体要求に取り組む一環として高齢期要求を提出している地域もあり、地域総行動の一分野として年金や高齢期諸要求を提出している地域もあります。

各地域の要請書を集約して東京高齢期運動連絡会のサイトに紹介し、おたがいに参考にしようという取り組みが始まっています。ぜひサイトをご覧下さい。

すべての自治体に行政データ問合せを！

取り組みの第2の柱は、各市への行政データ問いあわせ（自治体アンケート）を実施することです。全都共通の内容で自治体に記入してもらい集約します。回答は東京高齢期運動連絡会のサイトに掲載します。各地域の高齢者の実情を知る参考になります。区市町村はさまざまな工夫をして高齢者施策を行っています。他の地域の施策を知ることは運動にも役に立ちます。まとめのデータをぜひみんなで活用しましょう。

行政データ問合せ（自治体アンケート）で自治体に書いてもらう用紙をはじめ資料は、東京高齢期運動連絡会のサイトにアップされています。自治体要求運動のページのURLは、http://koureiki.main.jp/html/t/jititai.html です。「東京高齢期運動連絡会」で検索して「自治体要求運動」のページを開いて見ることもできます。取り組みを交流しながら運動を進めましょう。

「日本高齢者人権宣言」

高齢者大会in京都にむけ学習討議を

「日本高齢者人権宣言」の運動は、第1に、人間らしく生きる権利と自分らしく生きる自由を私たちの権利として自覚し、それを保障する国の義務を明確にしようという取り組みです。多くの高齢者が、減り続ける年金、削られ続ける社会保障のもとで苦しんでいます。みんなで「日本高齢者人権宣言」を学習し、議論し、運動の力にしていきましょう。

いま国連では、高齢者の権利条約に向けての議論が進んでいます。「日本高齢者人権宣言」の運動は、第2に高齢者の権利条約の成立を促進する運動でもあります。条約の成立を求める声をあげ、さらに日本政府に条約への加入を求め、国の政治への具体化を迫る活動へ繋げていきましょう

読み合わせ、みんなで話し合おう

東京高齢期運動連絡会の常任幹事会も、宣言を読み合わせて話し合いました。いま、第2次案に「自己責任」や「公助」という呪いの言葉への批判などを補強した第3次草案がホームページにアップされています。

http://nihonkouren.jp/pdf/pamphlet_jpn_03.pdf

「日本高齢者人権宣言」の内容は、世界の人権思想の到達点を反映する内容です。読んで、自分たちの暮らしの現実と照らし合わせて話し合えば、必ず運動の力になります。

高齢者大会in京都で確認へ

日本高齢期運動連絡会は、11月に開かれる日本高齢者大会in京都で「日本高齢者人権宣言」を確定した宣言として確認することをめざして議論を進めています。各団体の学習討議の中からの意見をお寄せください。

運動にいかしてこそ

いま、日本には最低保障年金制度もありません。年金だけでは生きていけないために働き、高齢者の労働災害が多発しています。医療でも、介護でも、年々負担はふやされ、病気になっても費用を心配しての受診控えが発生しています。「自己責任」「受益者負担」「自助共助公助」など悪魔のようなイデオロギーのもと、高齢者の人権は踏みつけにされています。

「日本高齢者人権宣言」の学習を、多くのなかまに広げ、高齢者の要求を実現する運動の中に活かしていきましょう。

ピースタイルで東京高連の活動を支えてください

東京高連は財政確立のために、これまでも麺類や「じいじ・ばあばせんべい」の販売を行ってきましたが、今回「装飾タイル」を扱いますので、皆さんのご協力をお願いします。

写真のような15センチ角の「陶製タイル」です。商品はタイルだけです。

“ピースタイル”は、市民の手で！平和博物館をと、「平和博物館を創る会」が運動のニック・ネームをピースタイル運動と名づけ、制作・販売を行っています。頒布価格は1枚1，500円です。東京高連では次の5種類を、各15枚用意していますので早目のご注文お願いします。

①　青春の祭典

①青春の祭典　バブロ・ピカソが1951年世界青年平和友好祭のためにスカーフ用としてデザインしたもの。パリの平和と美術社と提携して、3000枚だけ限定頒布しています。

②平和の顔　ピカソが1958年に日本の絹張りの色紙に描いたもの。下部にフランス語で「日本の平和運動のために」とかかれています。

②平和の顔

③ジュリエットと鳩　ジュリエット・ラマーデは現在パリで活躍中の女流画家。反核ポスターなどフランスの若者に人気があります。

③ジュリエットと鳩

④空に！　創る会のシンボル・マーク永井一正氏は同会代表理事。日本グラフイック・デザイナー協会副会長。日本デザインセンター社長。

④空に！

⑤花咲き山　ミニ平和博物館オープンを記念して作成。滝平二郎氏は創る会理事。日本きりえ協会、美術家平和会議各代表委員。

⑤花咲き山